

P+ARCHIVE レクチャー・シリーズ vol.2

ピー プラス アーカイブ



夢土画廊関係資料の展覧会案内葉書

ミュージアム・アーカイブズの実践と活用

2021年12月10日[金] 18:30 - 19:30

参加方法：Zoomウェビナーによるオンライン参加

参加費：無料

定員：30名(先着順)

講師：長名大地(東京国立近代美術館企画課情報資料室 研究員)

お申し込み

ウェビナー登録フォーム
よりお申し込みください。



作家ファイル

東京国立近代美術館では展覧会の案内ハガキなど「エフェメラ」と呼ばれる一過性の資料をアーティストごとに「作家ファイル」として保存してきました。4,400件を超える膨大な数のファイルをデータベース化した工夫や、エフェメラを保存する意義をお聞きしていきます。

アーカイブズ資料：夢土画廊関係資料

「^{もど}夢土画廊関連資料」は美術館として画廊資料の寄贈を初めて受け入れ、アーカイブズ記述の国際一般原則「ISAD (G)」に基づく資料整理に取り組み、2019年から一般公開しています。当時を伝える貴重な一次資料の整理に関するお話から、具体的な活用方法についてもお聞きします。

※当レクチャーは、ウェビナー申込者のみがライブ配信で視聴できます。

※収録動画のアーカイブ配信はいたしません。

展覧会関連写真のデジタル化と活用

美術館が所蔵する資料の事例として、展覧会関連写真のデジタル化の取り組みを紹介いただきます。展示風景を記録したガラス乾板のデジタル画像を用いた活用案についてもお聞きします。

美術館のなかのアーカイブズ資料にスポットライトを当てて、それぞれ特徴的な資料に対して長名さんが日々の活動のなかで工夫されている取り組みをお話いただく機会となります。後半では質疑応答の時間も設けますので、ご興味ある方はぜひご参加ください。

講師プロフィール

長名大地 | Taichi Osana

東京国立近代美術館研究員。博士(学術)。専門分野は西洋の近代美術史。アートライブラリ運営や、美術資料に関する調査・研究に従事。過去の業績は researchmap を参照。
<https://researchmap.jp/taichiosana>

お問い合わせ | info@art-society.com

主催 | 特定非営利活動法人
アート&ソサイエティ研究センター

 ART & SOCIETY
RESEARCH CENTER